

最短 3 時間で業務体験！国内最大級の学内での実践型キャリア支援イベント 『Meet & Connect ～企業と出会う一日～』を開催しました

学生の主体的な活動“主活力”を養う、東洋大学の哲学を実践するキャリア支援

東洋大学（東京都文京区／学長・矢口悦子）は「主体的に活動できる力＝主活力（しゅかつりょく）の TOYO」をコンセプトに、低学年からのキャリア支援を推進しています。この一環として、就職・キャリア支援課は、学生が学内で最短 3 時間から業務体験できる実践型キャリア支援プログラム『Meet & Connect ～企業と出会う一日～』の第 1 回を 9 月 2 日（火）から 9 月 12 日（金）の期間で開催しました。期間中、全 7 社の企業に参加いただき、本学の学生 181 人が参加しました。大学のキャンパス内で行う業務体験イベントとしては、大規模かつユニークな取り組みとなります。



昨今、少子高齢化などを背景に、多くの企業で早期から優秀な人材を確保したいという意向や、慢性的な人手不足などの理由から、採用活動が早期化しています。これに伴い、本学の就職・キャリア支援課では、1、2 年生の就職活動が本格化する前から始められる多様なキャリア支援を推進しています。『Meet & Connect ～企業と出会う一日～』も、働くことや将来のキャリアについてイメージが持てず不安を抱える学生に対し、まずは社会を身近に感じることのきっかけとしてもらいたいという思いから、全学年を対象として実施しています。

■『Meet & Connect ～企業と出会う一日～』

東洋大学 白山キャンパスを会場とし、半日から 1 日という短時間で実施する業務体験プログラムで、“学生と企業の接点を最大化すること”を目的に実施しています。学生にとってはキャリア形成の大きな一歩となり、企業にとっては未来の人材との出会いの場としていただきます。一般的なインターンシップとは異なり、学生と企業が中長期的な関係を築いていくためのキャリア支援プログラムとして、大学が橋渡しの役割を担います。

■第1回『Meet & Connect ～企業と出会う一日～』レポート：ゼブラ株式会社の事例

アナログとデジタルで拓く、新しい文具の世界

筆記具メーカーのゼブラ株式会社は、約 6 時間にわたる多彩なプログラムを通じて、ものづくりメーカーの現場で働く魅力や今後の挑戦について伝えました。午前中は「サラサクリップ」組立や「マイルドライナー」オリジナルインク調合、チップ（ペン先の機構）品質検査など、実際の製造工程を再現した体験を実施。学生たちは手を動かしながら、製品の精密さや品質へのこだわりを肌で感じていました。

午後は、同社 2025 年 2 月リリースのリアルタイム 3Dvisual 生成プラットフォーム「kaku lab.」の XR 体験を通じて、空間に文字を書く新しい表現技術に触れた後、「付加価値商品提案ワーク」で新しい文具のアイデアを発表。社員からのフィードバックを受けることで、創造と実践が結びつく貴重な学びの時間となりました。

文具づくりの楽しさとともに、“和と挑戦”の会社方針を体感できるプログラムは、参加学生からも高い満足度を得ました。



【参加学生コメント：文学部 2 年】

どの業界や職種であろうと、仕事を全て 1 人ですということは無いので、コミュニケーションが本当に大切であることを改めて学ぶことが出来ました。

実践型キャリア支援プログラム『Meet & Connect ～企業と出会う一日～』の特長

■3～6 時間の短時間の業務体験

学内を会場に、半日プログラム（3 時間）または 1 日プログラム（6 時間）の短時間で実施します。企業にとっては負担を最小限に抑えつつ、意欲の高い学生との接点を持ち、学生に企業の魅力を伝えることが可能です。就職活動が早期化しているとはいえ、学業に割く時間も必要で多忙な学生にとっても、効率のよい活動となり、企業・学生の双方にとって有意義な時間となります。

■“テーマ別”に選べる体験内容

各企業が「自社らしさ」を短時間で学生に伝えられるよう、体験内容をテーマ化して提供します。学生は、興味やキャリア観に合わせて体験先を選択できるため、双方にとって意義深い時間となります。

▼今年度実施したテーマ別業務体験の例

業界	テーマ	体験内容
金融	金融×地域活性(創生)	業界・企業説明、地域課題解決ワーク
物流	国際物流 ×職種を跨いでの課題解決	現場職種の体験、課題解決型ミニプロジェクトへの挑戦
コンサルティング	コンサルティング ×顧客第一の戦略構築	顧客ニーズの汲み取り方・戦略構築検討手法の習得、グループワーク
メーカー	デジタル×アナログ×挑戦	筆記具製造・新事業体験、新商品提案ワーク
メディア	メディア×自己表現	業界解説、情報伝達実践・自己表現ワーク
空港	航空×未来戦略	新規ビジネスの共同探求、実践的アイデア創出体験
アパレル	アパレル×異業界	社会課題解決、実践的アイデアブラッシュアップ体験



【東洋大学のキャリア支援について】

建学の精神、『諸学の基礎は哲学にあり』に基づいた、学生の主体的な活動“主活力”を養う

現代社会で求められる「課題発見力」「課題解決力」の根幹には、「物事の本質を考える力」が必要です。それは、事象を多元的な視野・思考で追及する哲学のベースとなる考え方に通じます。哲学教育を軸にしている本学では、単なる就職支援ではなく、主体的に考え行動する力“主活力”を養うことを重視しています。自ら課題を見つけ、解決する力を育む、多様なキャリア支援プログラムで学生をサポートしています。

＜自ら課題を見つけ、解決する力を身に付ける：1、2年生から始めるプログラム「UP 講座」＞

数多く開催している支援の中でも特徴的なプログラムが、「UP 講座」です。1 年次は“自分”を知る「ONE UP」、2 年次は“社会”を知る「TWO UP」、3 年次は“相手（企業）”を知る「THREE UP」の段階と位置付け、各学年でテーマに沿ったワークショップなどを行い、4 年次の就職活動本番へと繋げていく講座です。ほかにも、多彩なキャリア支援プログラムを実施しています。詳細は下記 HP をご覧ください。

「就職情報ナビサイト TO YOU」：<https://www.toyo.ac.jp/campuslife/toyou/>

【学校法人 東洋大学について】

東洋大学は 1887 年に哲学者・井上円了により「哲学館」として創立され、「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」を建学の精神としています。創立者の志を受け継ぎ、東洋大学の教育理念である「物事の本質に迫って深く考え、考察を重ねること」を基礎とし、科学する力、実践する力を育てることで、地球社会の様々な課題に取り組む力を養うことを目指しています。

2025 年度現在、白山、赤羽台、川越、朝霞キャンパスに 14 学部 51 学科専攻と大学院 15 研究科を擁する総合大学へと発展しました。

＜東洋大学 HP＞ <https://www.toyo.ac.jp/>

【本件に関する報道関係の方からの問い合わせ先】

東洋大学 総務部広報課

TEL：03-3945-7571 MAIL：mlkoho@toyo.jp